

日 汉 对 照

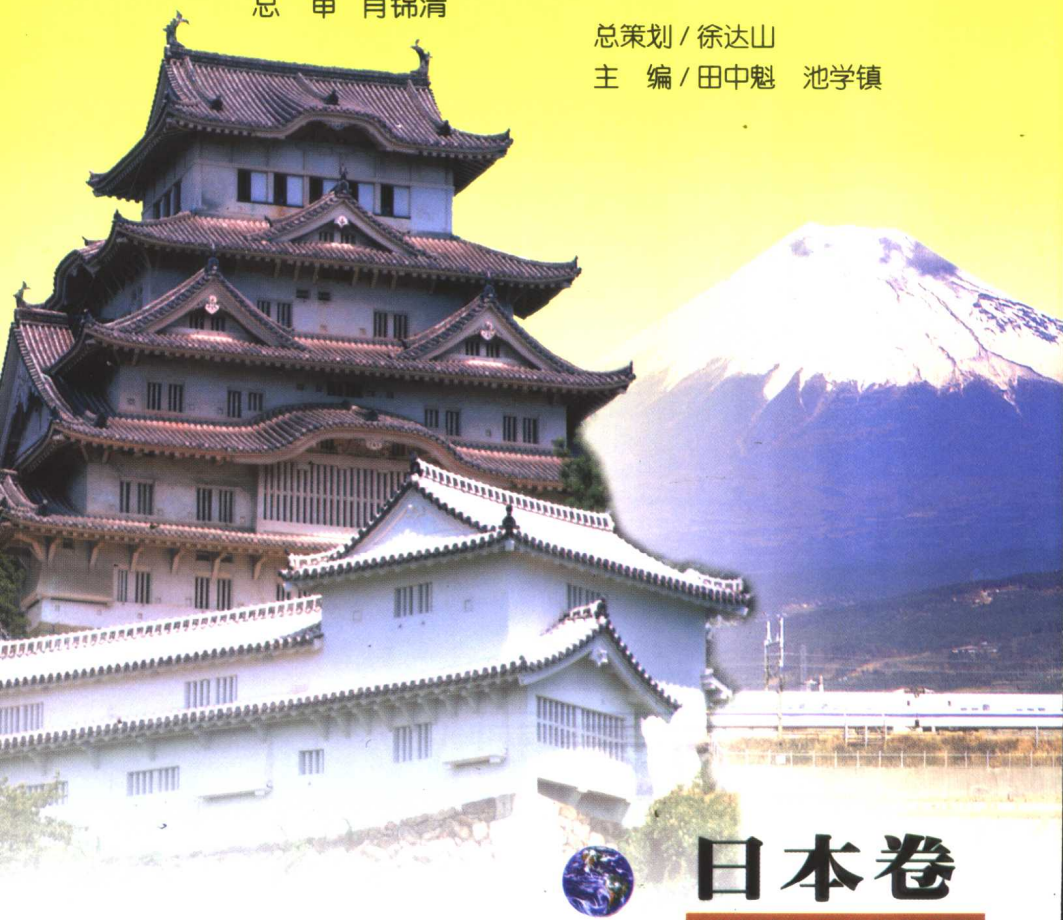
世界各国事情

顾 问 张道真
陈羽纶
冯世则
总 审 肖锦清

世界通览

总策划 / 徐达山

主 编 / 田中魁 池学镇



日本卷

哈尔滨工程大学出版社

世界通览

日本

主 编 田忠魁 池学镇

编 者 黄 健 张 广 王 丽

(日)福地桂子

哈尔滨工程大学出版社

图书在版编目(CIP)数据

世界通览. 日本卷/田忠魁, 池学镇编著. —哈尔滨:
哈尔滨工程大学出版社, 2004. 1

ISBN 7-81073-551-9

I. 世… II. ①田…②池… III. ①世界-概况
②日本-概况-日、汉 IV. K91

中国版本图书馆 CIP 数据核字(2003)第 120167 号

哈尔滨工程大学出版社出版发行
哈尔滨市南通大街145号 哈工程大学11号楼
发行部电话:(0451)82519328 邮编:150001
新华书店经销
黑龙江省教育厅印刷厂印刷

*

开本 880mm×1230mm 1/32 印张 15 字数 300 千字

2004 年 4 月第 1 版 2004 年 4 月第 1 次印刷

印数:1—3 000 册

定价:18.80 元

前 言

本书的前身《日本通览》自 1993 年面世以来,虽经多次再版,但依然畅销不衰,这说明这本书颇受读者青睐和爱护。其原因可能是多方面的,但客观地说,内容丰富大概可以说是一个十分重要的原因。无论地理、历史还是教育、社会、政治、风俗、文化,乃至文娱、体育等等,凡是有较多读者关心的内容,基本上可以说悉数囊括。此外,日文行文浅近易懂,便于广大日语读者阅读,也应是另一个重要原因。总之,编者要向读者全面介绍与日本有关的各方面知识的努力已经得到了应有的回报。这是编者最大的快慰。

尽管如此,这毕竟是十年前的事。日人有云:十年一昔^{じゅうねんひとむかし}。十年的时光,中国、日本乃至世界,几乎在社会的所有方面都发生了巨大的变化。现在的青年读者跟十年前相比,渴望了解日本的心情也许没有多大变化,但他们所要了解的广度和深度以及各方面知识把握的准确度却远远超过十年以前的往昔。为了不辜负广大读者的厚爱,编者在出版社的支持下,决定对原书作大幅度的修订。

这次修订,工程较大,是一次彻底的“大修”。在保留原书长处的基础上,进行了大刀阔斧的增、删、改。这项工作主要围绕下述五个方面进行:(1)各种数字的更新和补充;(2)各章节内容的更新、补充以及行文的调整;(3)删减繁冗或读者未必需要的章节内容;(4)为提高本书的资料价值而增加了一些重要的资料性内容;(5)调整部分章节的顺序,使之更趋自然、合理。

“大修”过程中编者首先重视各种资料的更新,认为这是全部工作中最重要的环节。我们主要参考《知惠藏》(2003 年版)的有关数据和资料,同时参考有关的专门著作以及因特网上的各种资料。在使用因特网的数据时,编者特别注意网站的严肃性和权威性,尤其是提供资料的部门的权威性,以期数据的准确可靠。为了保证全书行文的质量,我们采取中日学者合作编写的形式:先由中方编者根据资料形成中文后由日方编者译成日文,或者先由日方编者形成日文后,再由中

方编者译成中文。这样可以避免中国人写日语、日本人写汉语时容易出现表达欠规范的现象。这样做的主要动机是考虑到本书可作大学本科日语专业“日本概况”课的教材。教科书最大的特点是要有典范性,这就要求中文、日文的行文都必须稳妥、规范。可以说编者在这方面尽了最大的努力。

《日本通览》的修订工作除原书两名主编外重新组织了编者队伍。在这里谨对原书的四名编者蔡伟林、刘学、程艳春、康秋月的辛勤劳作表示敬意和感谢。

本次修订工作由主编田忠魁(黑龙江大学)、池学镇(哈尔滨医科大学)负责制定修订方案、计划、具体修改方法、中文稿的撰写以及中、日文的最终定稿。编者黄健(黑龙江大学)自始至终参加了资料的收集和整理、中文稿的撰写、文稿的录入以及后期加工;张广(黑龙江大学)撰写部分中文稿;王丽(哈尔滨医科大学)参加后期工作。日方编者福地桂子(日本·和光大学)撰写全部日文稿。

编 者

2003年12月25日

目 录

1. 国名・国旗	1
(1)国旗	1
(2)国歌	1
(3)国花・国鳥	2
(4)元号	2
(5)国名のいわれ	3
2. 歴史	4
(1)日本国の起源	4
(2)日本の歴史	4
(3)日本が急速に近代化した原動力	7
(4)外国と日本との歴史的・文化的関係	8
3. 地理	12
(1)日本の位置・国土	12
(2)日本の気候	12
(3)日本の地形	13
(4)日本の人口	14
(5)日本の山・川・湖	15
4. 日本人	16
(1)日本人の起源	16
(2)国民性	17
(3)日本人の自然観	18
(4)日本人の勤労意識	19
(5)日本人の娯楽観	21
(6)日本人の美意識	22
(7)日本人の死生観	23
(8)集団主義	24
(9)中流意識	26
(10)恥の文化	26

(11)義理人情	27
(12)日本人の脳	28
(13)日本人の言語行動	29
(14)日本人の微笑	31
(15)日本人の好きな英雄	32
(16)日本人論の好きな日本人	33
(17)日本人と付き合う法	35
(18)日本人のノーベル賞受賞者	36
(19)日本人の一生	38
5. 日本語	40
(1)日本の文字.....	40
(2)日本語.....	41
(3)日本語を学ぶのは難しくない.....	42
(4)日本語の中の外来語.....	42
6. 政治	45
(1)天皇の憲法上の地位.....	45
(2)皇室の歴史.....	45
(3)天皇・皇后・皇太子.....	46
(4)日本の統治機構.....	47
(5)戦後政治の流れ.....	47
(6)内閣.....	49
(7)政党.....	55
(8)選挙.....	56
(9)派閥.....	58
(10)官僚	59
(11)裁判	60
(12)税制	61
(13)防衛	63
7. 外交	65
(1)日本の外交.....	65
(2)経済協力.....	68
(3)技術協力.....	69

(4)文化交流	70
8. 経済	72
(1)戦後の日本経済の発展	72
(2)二次大戦後における日本経済高度成長の要因	75
(3)最近の物価	76
(4)円の為替相場	77
(5)独占禁止政策	77
(6)財閥	78
(7)国際収支	79
(8)日本経済の今後の課題	81
(9)経済財政の中期展望	81
9. 産業	83
(1)日本の資源	83
(2)産業構造の変遷	83
(3)産業組織	84
(4)産業政策	86
(5)農業	86
(6)林業	87
(7)水産業	88
(8)鉄鋼業	88
(9)電気機器産業	89
(10)自動車産業	90
(11)造船業	90
(12)化学産業	91
(13)繊維産業	92
(14)食品産業	92
(15)サービス業	93
(16)産業空洞化	94
10. 貿易	95
(1)輸出	95
(2)輸入	95
(3)貿易構造と貿易摩擦	96

11. 企業経営	98
(1) 企業経営の特徴	98
(2) 企業における意思決定の仕組み	98
(3) 雇用関係の特徴	99
(4) 男女雇用機会均等法(改正)	100
(5) 年功序列	101
(6) 企業における定期採用や定期昇給	102
(7) 労使関係	104
(8) 勤務時間	104
(9) 労働基準法(改正)	105
(10) 自主管理活動	105
(11) 定年	106
(12) 日本における外国人労働者	106
(13) ビジネスマンの付き合い	107
(14) ビジネスマンの1日	108
(15) ビジネスマンの一生	109
(16) 日本の商談	110
12. 科学技術	112
(1) 科学技術の研究開発	112
(2) 科学技術の研究体制	112
(3) コンピューター	113
(4) 先端技術製品	113
(5) 原子力利用技術の開発	114
(6) 宇宙開発	115
(7) エネルギーに関する研究開発	115
(8) 日本の技術力の強みの特質	116
13. 日本の社会	118
(1) 階級差と身分差	118
(2) タテ社会	118
(3) 学歴偏重社会	119
(4) 日本人の平均寿命	120
(5) 人口増加率	120

(6)高齡化社会	120
(7)消費生活	121
(8)日本の家具	122
(9)新聞	123
(10)テレビ・ラジオ.....	124
(11)出版.....	125
(12)国内輸送.....	126
(13)鉄道.....	127
(14)道路と自動車輸送.....	127
(15)海運.....	127
(16)公害問題.....	128
(17)安全・確実な日本の社会.....	129
14. 家庭・生活	131
(1)暮らし	131
(2)生活時間	132
(3)家庭	133
(4)洋服と着物	134
(5)住宅	136
(6)家族構成	136
(7)女性の職業と家事	137
(8)日本では仕事上の客を自宅に招かない	138
(9)単身赴任	139
15. 食生活	140
(1)食生活	140
(2)日本食と材料	141
(3)伝統的な日本食	142
(4)日本における外国料理	143
(5)酒	144
(6)飲み物	145
(7)煙草	146
16. 風俗・習慣	147
(1)日本人の1年	147

(2) 主な年中行事	148
(3) 国民の祝日	149
(4) 郷土色豊かな祭り	151
(5) 外国と異なる日本の習慣	153
(6) 日本ではしない方がよいとされる習慣	154
(7) 名刺	154
(8) 判子	155
(9) 贈答	155
(10) 結婚	156
(11) 結婚式・披露宴	157
(12) 死の儀式	158
(13) 日本人のジェスチャー(その一)	159
(14) 日本人のジェスチャー(その二)	160
(15) 日本の企業では名前ではなく役職名でよぶ	161
17. 教育	162
(1) 教育制度の発展	162
(2) 学校教育制度	163
(3) 進学率	164
(4) 大学	165
(5) 学生生活	166
(6) 塾	166
18. 宗教	168
(1) 日本の宗教	168
(2) 日本人の宗教心	168
(3) 神道	169
(4) 仏教・禅	170
(5) キリシト教	171
19. 文化・文学	172
(1) 日本文化の特性	172
(2) 日本文学	173
(3) 神話	182
(4) 昔話	184

(5)伝説	185
(6)和歌	186
(7)俳句	187
(8)百人一首	189
20. 伝統演劇・芸能	190
(1)能	190
(2)歌舞伎	191
(3)文楽(人形浄瑠璃)	191
(4)邦 楽	192
(5)日本舞踊	193
(6)大衆芸能	193
21. 伝統芸術・工芸	195
(1)いけばな	195
(2)茶道	195
(3)書道	196
(4)絵画	197
(5)陶磁器	198
(6)漆器	198
(7)七宝焼	199
(8)日本刀	199
(9)人形	200
(10)扇子	201
(11)盆栽	201
(12)建築物	202
(13)庭園	203
22. スポーツ	204
(1)スポーツ	204
(2)相撲	204
(3)柔道	205
(4)剣道・弓道・空手道・合気道	206
(5)野球	208
(6)ゴルフ・テニス	209

23. 娯楽	211
(1) 碁・将棋・麻雀	211
(2) 公営ギャンブル	212
(3) じゃんけん	213
(4) カルタ	214
(5) 童謡	214
(6) 歌謡曲	215
(7) 映画	215
(8) 子供の遊び	217
24. 観光	219
(1) 旅行の風習	219
(2) 日本観光のみどころ	219
(3) 歴史文化の観光地	220
(4) 自然と景観	222
(5) 東京の見どころ	223
(6) 日本での宿泊	224
(7) 安価に旅行するには	225
(8) 温泉巡り	226
(9) 花見・紅葉狩り	227
25. 超自然・動植物のイメージ	229
(1) 犬・猫	229
(2) タヌキ・キツネ	230
(3) タイ・コイ	231
(4) ツル・カラス	233
(5) 松	234
(6) 竹	235
(7) 桜	236
(8) 梅・桃	238
(9) 幽霊	239
(10) 妖怪	240
補足資料	
(1) 芥川賞受賞作一覧	243

(2)直木賞受賞作一覽	256
参考译文	
一、国名、国旗	271
(一)国旗	271
(二)国歌	271
(三)国花、国鸟	272
(四)年号	272
(五)国名的由来	273
二、日本的历史	273
(一)日本国的起源	273
(二)历史	273
(三)日本高速现代化的动力	275
(四)日本同外国历史及文化的联系	277
三、地理	279
(一)日本的位置与国土	279
(二)日本的气候	279
(三)日本的地形	280
(四)日本的人口	280
(五)日本的山川、湖泊	281
四、日本人	281
(一)民族的起源	281
(二)国民性	282
(三)日本人的自然观	283
(四)劳动意识	284
(五)娱乐观	285
(六)日本人的审美意识	286
(七)生死观	287
(八)团队意识	288
(九)中等意识	289
(十)耻的文化	290
(十一)义理人情	290
(十二)日本人的大脑	291

(十三)日本人的语言行为·····	292
(十四)日本人的微笑·····	293
(十五)日本人喜爱的英雄·····	294
(十六)日本人喜欢“论日本人”·····	295
(十七)和日本人交往的方法·····	296
(十八)获得诺贝尔奖的日本人·····	298
(十九)日本人的一生·····	298
五、日语·····	299
(一)日本的文字·····	299
(二)日语·····	300
(三)日语并不难学·····	301
(四)日语中的外来语·····	301
六、政治·····	302
(一)天皇在宪法上的地位·····	302
(二)皇室史·····	303
(三)天皇、皇后、皇太子·····	303
(四)日本的统治机构·····	304
(五)战后的政治变迁·····	305
(六)内阁·····	306
(七)政党·····	306
(八)竞选·····	307
(九)派系·····	308
(十)官僚·····	309
(十一)审判·····	310
(十二)税制·····	311
(十三)防务·····	312
七、外交·····	313
(一)日本的外交·····	313
(二)经济合作·····	316
(三)技术合作·····	317
(四)文化交流·····	318
八、经济·····	318

(一)战后日本经济的发展·····	318
(二)战后日本经济高速增长的主因·····	321
(三)近年的物价动向·····	322
(四)日元的汇兑率·····	322
(五)垄断禁止法·····	323
(六)财阀·····	323
(七)国际收支·····	324
(八)日本经济面临的课题·····	325
(九)经济财政中期展望·····	326
九、产业·····	326
(一)日本的资源·····	326
(二)产业结构的变迁·····	327
(三)产业组织·····	328
(四)产业政策·····	329
(五)农业·····	329
(六)林业·····	330
(七)水产业·····	330
(八)钢铁工业·····	331
(九)电机工业·····	331
(十)汽车工业·····	332
(十一)造船业·····	332
(十二)化学工业·····	333
(十三)纤维工业·····	334
(十四)食品工业·····	334
(十五)服务业·····	335
(十六)产业空洞化·····	335
十、贸易·····	336
(一)出口·····	336
(二)进口·····	336
(三)贸易结构与贸易摩擦·····	337
十一、企业管理·····	338
(一)企业管理的特点·····	338

(二)企业的决策方式·····	338
(三)雇佣的特点·····	339
(四)男女雇佣机会均等法(修订)·····	340
(五)论资排辈·····	340
(六)定期录用和定期提薪·····	341
(七)劳资关系·····	343
(八)工作时间·····	343
(九)劳动基准法(修订)·····	344
(十)民主管理活动·····	344
(十一)退休年龄·····	344
(十二)在日外国工人·····	345
(十三)公司职员的社交·····	345
(十四)公司职员的一天·····	346
(十五)公司职员的一生·····	347
(十六)日本式的商务洽谈·····	348
十二、科学技术·····	349
(一)科学技术的研究与开发·····	349
(二)科学技术的研究体制·····	350
(三)电子计算机·····	350
(四)高科技产品·····	351
(五)原子能应用技术的开发·····	351
(六)宇宙开发·····	352
(七)能源的研究开发·····	352
(八)日本技术力量雄厚的特点·····	353
十三、日本的社会·····	354
(一)阶级差别与地位差别·····	354
(二)纵向社会·····	354
(三)偏重学历的社会·····	355
(四)日本人的平均寿命·····	355
(五)人口增加率·····	356
(六)高龄化社会·····	356
(七)消费生活·····	356